

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	約10年2カ月間（2012年7月31日～2022年9月21日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンドの受益証券
	ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンド	オーストラリアの金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）または店頭登録（登録予定を含みます。）の株式および不動産投資信託証券（不動産投資信託の受益証券または不動産投資法人の投資証券をいいます。）
マザーファンドの運用方法	<p>①主として、オーストラリアの金融商品取引所上場株式等（不動産投資信託証券を含みます。以下同じ。）の中から、相対的に予想配当利回りの高い銘柄に投資し、信託財産の成長をめざします。</p> <p>②ポートフォリオの構築にあたっては、次の方針で行なうことを基本とします。</p> <p>イ．時価総額や流動性等を勘案して投資対象銘柄を選定します。</p> <p>ロ．投資対象銘柄の中から、企業の利益成長性、財務内容、配当余力および配当政策等を分析し、予想配当利回りの水準が高いと判断される銘柄を中心に、組入候補銘柄を選別します。</p> <p>ハ．株価バリュエーションや銘柄分散等を勘案してポートフォリオを構築します。</p> <p>③株式等の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。</p> <p>④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	
分配方針	<p>分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、当初設定から1年以内に分配を開始し、分配開始後は、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。</p>	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

オーストラリア 好配当株式オープン （毎月決算型）

運用報告書（全体版）

第39期	（決算日	2015年10月21日）
第40期	（決算日	2015年11月24日）
第41期	（決算日	2015年12月21日）
第42期	（決算日	2016年1月21日）
第43期	（決算日	2016年2月22日）
第44期	（決算日	2016年3月22日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「オーストラリア好配当株式オープン（毎月決算型）」は、このたび、第44期の決算を行ないました。

ここに、第39期～第44期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9:00～17:00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			S & P / A S X 200指数 (円換算)		株 式 組入比率	株式先物 比 率	投資信託 証 券 組入比率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 中 騰 落 率	(参考指数)	期 中 騰 落 率				
	円	円	%		%	%	%	%	百万円
15期末 (2013年10月21日)	15,680	10	3.6	14,442	3.2	92.5	3.2	3.4	15
16期末 (2013年11月21日)	15,627	10	△ 0.3	14,269	△ 1.2	91.6	3.2	3.3	15
17期末 (2013年12月24日)	15,567	10	△ 0.3	14,127	△ 1.0	91.3	4.1	2.9	15
18期末 (2014年1月21日)	15,288	10	△ 1.7	13,983	△ 1.0	92.1	3.8	3.0	15
19期末 (2014年2月21日)	15,882	10	4.0	14,321	2.4	90.8	3.8	4.0	15
20期末 (2014年3月24日)	16,177	10	1.9	14,239	△ 0.6	92.6	1.6	4.8	16
21期末 (2014年4月21日)	16,924	10	4.7	14,990	5.3	89.9	4.6	3.6	16
22期末 (2014年5月21日)	16,451	10	△ 2.7	14,533	△ 3.0	89.0	4.7	4.1	16
23期末 (2014年6月23日)	17,116	10	4.1	14,904	2.6	91.2	4.5	3.3	17
24期末 (2014年7月22日)	17,176	10	0.4	15,112	1.4	90.2	4.1	4.1	17
25期末 (2014年8月21日)	18,041	10	5.1	15,578	3.1	90.6	3.6	5.0	18
26期末 (2014年9月22日)	17,795	10	△ 1.3	15,186	△ 2.5	91.4	3.2	4.9	17
27期末 (2014年10月21日)	16,831	10	△ 5.4	14,327	△ 5.7	90.2	2.0	4.8	16
28期末 (2014年11月21日)	18,313	10	8.9	15,543	8.5	87.7	2.0	5.3	18
29期末 (2014年12月22日)	17,637	10	△ 3.6	14,901	△ 4.1	90.2	2.0	6.0	17
30期末 (2015年1月21日)	17,491	10	△ 0.8	14,746	△ 1.0	90.7	2.0	5.5	17
31期末 (2015年2月23日)	18,435	10	5.5	15,743	6.8	90.4	1.6	5.7	18
32期末 (2015年3月23日)	※ 11,339	60	※ 3.1	16,008	1.7	91.9	1.6	5.0	18
33期末 (2015年4月21日)	10,900	60	△ 3.3	15,381	△ 3.9	87.5	2.1	5.0	18
34期末 (2015年5月21日)	10,792	60	△ 0.4	15,374	△ 0.0	88.4	2.1	4.1	19
35期末 (2015年6月22日)	10,805	60	0.7	15,306	△ 0.4	90.1	2.1	3.8	20
36期末 (2015年7月21日)	10,527	60	△ 2.0	14,961	△ 2.3	89.3	2.1	3.8	20
37期末 (2015年8月21日)	9,783	60	△ 6.5	13,737	△ 8.2	88.1	2.1	3.6	20
38期末 (2015年9月24日)	8,593	60	△ 11.6	12,079	△ 12.1	88.0	2.1	3.6	18
39期末 (2015年10月21日)	9,223	60	8.0	13,104	8.5	89.2	2.2	3.9	20
40期末 (2015年11月24日)	9,531	60	4.0	13,372	2.1	90.1	2.3	5.0	20
41期末 (2015年12月21日)	8,987	60	△ 5.1	12,719	△ 4.9	87.4	2.3	5.2	18
42期末 (2016年1月21日)	7,988	60	△ 10.4	11,324	△ 11.0	87.8	2.3	5.4	16
43期末 (2016年2月22日)	8,018	60	1.1	11,478	1.4	87.1	2.4	5.7	16
44期末 (2016年3月22日)	8,696	60	9.2	12,568	9.5	88.0	2.5	5.3	18

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P / A S X 200指数 (円換算) は、S & P / A S X 200指数 (オーストラリア・ドルベース) を円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P / A S X 200指数 (オーストラリア・ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLC が有しています。S&P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

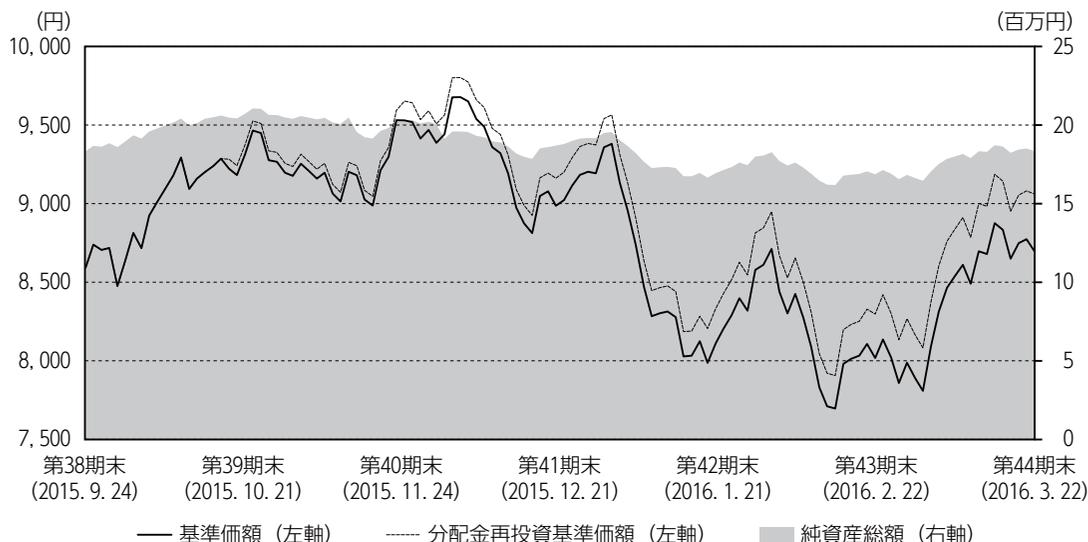
(注4) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

※2015年3月20日に受益権6口に対して10口の割合で分割を行ないました。第32期末の基準価額は受益権の分割の影響を受けています。また、第32期末の期中騰落率は、受益権の分割が基準価額に与えた影響を除いた数値です。

《運用経過》

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■基準価額・騰落率

第39期首：8,593円

第44期末：8,696円（既払分配金360円）

騰落率：5.5%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

中国経済に対する過度の懸念の後退などを背景に株式市況が上昇したことが基準価額にプラスの要因となりました。また堅調なオーストラリア経済などを背景にオーストラリア・ドルが対円で底堅く推移したことも基準価額上昇のサポート要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

オーストラリア好配当株式オープン（毎月決算型）

	年 月 日	基 準 価 額		S & P / A S X 200指数 (円換算)		株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
		騰 落 率	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
第39期	(期首) 2015年9月24日	円 8,593	% —	12,079	% —	% 88.0	% 2.1	% 3.6
	9月末	8,476	△ 1.4	11,862	△ 1.8	88.8	2.1	3.7
	(期末) 2015年10月21日	9,283	8.0	13,104	8.5	89.2	2.2	3.9
第40期	(期首) 2015年10月21日	9,223	—	13,104	—	89.2	2.2	3.9
	10月末	9,197	△ 0.3	12,991	△ 0.9	90.2	2.3	4.0
	(期末) 2015年11月24日	9,591	4.0	13,372	2.1	90.1	2.3	5.0
第41期	(期首) 2015年11月24日	9,531	—	13,372	—	90.1	2.3	5.0
	11月末	9,388	△ 1.5	13,154	△ 1.6	89.2	2.3	5.0
	(期末) 2015年12月21日	9,047	△ 5.1	12,719	△ 4.9	87.4	2.3	5.2
第42期	(期首) 2015年12月21日	8,987	—	12,719	—	87.4	2.3	5.2
	12月末	9,359	4.1	13,287	4.5	87.4	2.3	5.1
	(期末) 2016年1月21日	8,048	△ 10.4	11,324	△ 11.0	87.8	2.3	5.4
第43期	(期首) 2016年1月21日	7,988	—	11,324	—	87.8	2.3	5.4
	1月末	8,580	7.4	12,230	8.0	87.7	2.3	5.3
	(期末) 2016年2月22日	8,078	1.1	11,478	1.4	87.1	2.4	5.7
第44期	(期首) 2016年2月22日	8,018	—	11,478	—	87.1	2.4	5.7
	2月末	7,890	△ 1.6	11,334	△ 1.3	86.4	2.4	5.9
	(期末) 2016年3月22日	8,756	9.2	12,568	9.5	88.0	2.5	5.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について**○オーストラリア株式市況**

オーストラリア株式市況は、2015年10月にECB（欧州中央銀行）のドラギ総裁の発言から12月会合に向けて追加緩和期待が急速に高まったことに加え、中国の追加金融緩和の発表が好感され、上昇しました。2016年1月から2月にかけては、中国株や中国・人民元の急落、原油価格の下落、北朝鮮や中東などの地政学リスクの高まりなどからリスク回避姿勢が強まり、下落しました。3月には、米ドル安の進展や、中国経済に対する過度の懸念が和らぎ原油や鉄鉱石などのコモディティ価格が反発したことなどを背景に、上昇しました。

○為替相場

第39期首から2015年12月初めにかけて、雇用統計など市場予想を上回る好調な経済指標が見られる中で、オーストラリアの利下げ観測が徐々に後退し、オーストラリア・ドルの対円レートは堅調に推移しました。2016年1月には、中国株をはじめ世界の株式市況が下落し、市場参加者はリスク回避姿勢を強め、中国を主要貿易相手とするオーストラリアの経済への懸念もあって、オーストラリア・ドル相場は下落しました。3月には、米ドル安の進展や原油や鉄鉱石などのコモディティ価格の反発などから、オーストラリア・ドルは対円で上昇しました。

前作成期間末における「今後の運用方針」**○当ファンド**

「ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンド」の受益証券へ投資を行ないます。

○ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンド

当ファンドでは引き続き、厳しい経済環境下においても安定的なキャッシュフローを生み出すことができる、強固な収益基盤を持つ企業に注目しています。また、その中でも配当という形での株主還元を重視する企業を中心に投資していく所存です。

ポートフォリオについて

○当ファンド

「ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンド」の受益証券へ投資を行ないました。

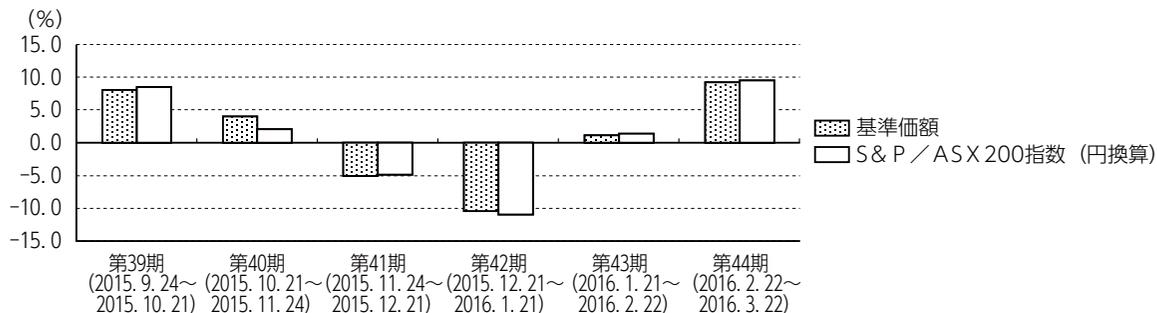
○ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンド

高いブランド力と強固な顧客基盤を持ち、高い収益性を誇る大手銀行 COMMONWEALTH BANK OF AUSTRALIA（金融）、オーストラリア国内で個人向け住宅ローンを中心に優れた財務基盤とともに安定した業績が予想された大手銀行 WESTPAC BANKING CORP（金融）、安定した成長性を持ち、海外売上高比率の高い大手梱包用品会社 AMCOR LIMITED（素材）、優れたネットワークを持ち、安定した配当が期待された TELSTRA CORP LTD（電気通信サービス）などを高位に組み入れました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数はオーストラリア株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

第39期から第44期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ60円といたしました。
 収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第39期	第40期	第41期	第42期	第43期	第44期
	2015年9月25日 ～2015年10月21日	2015年10月22日 ～2015年11月24日	2015年11月25日 ～2015年12月21日	2015年12月22日 ～2016年1月21日	2016年1月22日 ～2016年2月22日	2016年2月23日 ～2016年3月22日
当期分配金（税込み）（円）	60	60	60	60	60	60
対基準価額比率（%）	0.65	0.63	0.66	0.75	0.74	0.69
当期の収益（円）	4	60	—	0	27	60
当期の収益以外（円）	55	—	60	59	32	—
翌期繰越分配対象額（円）	5,088	5,099	5,039	4,980	4,947	4,967

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第39期	第40期	第41期	第42期	第43期	第44期
(a) 経費控除後の配当等収益	4.92円	71.25円	0.00円	0.73円	27.00円	79.84円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	1,308.01	1,327.36	1,438.72	1,448.12	1,492.28	1,503.24
(d) 分配準備積立金	<u>3,835.36</u>	<u>3,761.07</u>	<u>3,661.00</u>	<u>3,591.62</u>	<u>3,488.42</u>	<u>3,444.57</u>
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	5,148.30	5,159.69	5,099.72	5,040.48	5,007.70	5,027.66
(f) 分配金	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	<u>5,088.30</u>	<u>5,099.69</u>	<u>5,039.72</u>	<u>4,980.48</u>	<u>4,947.70</u>	<u>4,967.66</u>

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

「ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンド」の受益証券へ投資を行いません。

○ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンド

当ファンドでは引き続き、厳しい経済環境下においても安定的なキャッシュフローを生み出すことができる、強固な収益基盤を持つ企業に注目しています。またその中でも配当という形での株主還元を重視する企業を中心に投資していく所存です。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第39期～第44期		項 目 の 概 要
	(2015. 9. 25～2016. 3. 22)		
	金 額	比 率	
信託報酬	70円	0.790%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は8,803円です。
（投信会社）	(32)	(0.369)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(35)	(0.395)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(2)	(0.026)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	8	0.096	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株式）	(8)	(0.089)	
（先物）	(0)	(0.000)	
（投資信託証券）	(1)	(0.006)	
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	4	0.040	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(3)	(0.035)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(0)	(0.004)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	81	0.925	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

オーストラリア好配当株式オープン（毎月決算型）

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2015年9月25日から2016年3月22日まで)

決算期	第39期～第44期			
	設定		解約	
	□数	金額	□数	金額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンド	615	1,000	1,050	1,800

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2015年9月25日から2016年3月22日まで)

項目	第39期～第44期
	ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	2,213,098千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	5,462,879千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.40

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当作成期間（第39期～第44期）中における利害関係人との取引はありません。

■投信会社（自社）による当ファンドの設定・解約および保有状況

第39期首保有額	当作成期間中設定額	当作成期間中解約額	第44期末保有額	取引の理由
百万円 9	百万円 —	百万円 —	百万円 9	当初設定時における取得

(注1) 金額は元本ベース。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種類	第38期末	第44期末	
	□数	□数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンド	11,288	10,853	18,015

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年3月22日現在

項目	第44期末	
	評価額	比率
	千円	%
ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンド	18,015	97.4
コール・ローン等、その他	489	2.6
投資信託財産総額	18,504	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、3月22日における邦貨換算レートは、1オーストラリア・ドル＝84.78円です。

(注3) ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンドにおいて、第44期末における外貨建純資産(5,521,858千円)の投資信託財産総額(5,688,934千円)に対する比率は、97.1%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2015年10月21日)、(2015年11月24日)、(2015年12月21日)、(2016年1月21日)、(2016年2月22日)、(2016年3月22日) 現在

項 目	第39期末	第40期末	第41期末	第42期末	第43期末	第44期末
(A) 資産	20,636,170円	20,476,469円	18,854,213円	16,821,289円	17,026,536円	18,504,698円
コール・ローン等	822,425	349,537	697,433	597,514	590,032	489,014
ダイワ・オーストラリア高配当株 マザーファンド（評価額）	19,813,745	20,126,932	18,156,780	16,223,775	16,436,504	18,015,684
(B) 負債	156,726	158,584	148,063	150,658	150,901	149,798
未払収益分配金	133,234	127,912	124,893	125,220	126,279	126,639
未払信託報酬	23,432	30,523	22,967	25,173	24,293	22,772
その他未払費用	60	149	203	265	329	387
(C) 純資産総額（A－B）	20,479,444	20,317,885	18,706,150	16,670,631	16,875,635	18,354,900
元本	13,323,446	12,791,254	12,489,366	12,522,001	12,627,899	12,663,995
次期繰越損益金	7,155,998	7,526,631	6,216,784	4,148,630	4,247,736	5,690,905
(D) 受益権総口数	22,205,745口	21,318,758口	20,815,611口	20,870,004口	21,046,501口	21,106,661口
1万口当り基準価額（C/D）	9,223円	9,531円	8,987円	7,988円	8,018円	8,696円

* 第38期末における元本額は12,812,273円、当作成期間（第39期～第44期）中における追加設定元本額は1,178,439円、同解約元本額は1,326,717円です。

* 第44期末の計算口数当りの純資産額は8,696円です。

■損益の状況

第39期 自2015年9月25日 至2015年10月21日 第41期 自2015年11月25日 至2015年12月21日 第43期 自2016年1月22日 至2016年2月22日
 第40期 自2015年10月22日 至2015年11月24日 第42期 自2015年12月22日 至2016年1月21日 第44期 自2016年2月23日 至2016年3月22日

項 目	第39期	第40期	第41期	第42期	第43期	第44期
(A) 配当等収益	13円	6円	1円	3円	2円	—円
受取利息	13	6	1	3	2	—
(B) 有価証券売買損益	1,534,225	815,096	△ 953,547	△ 1,933,005	210,048	1,579,307
売買益	1,534,225	815,126	16,284	—	212,729	1,579,305
売買損	—	△ 30	△ 969,831	△ 1,933,005	△ 2,681	2
(C) 信託報酬等	△ 23,492	△ 30,612	△ 23,021	△ 25,235	△ 24,357	△ 22,830
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	1,510,746	784,490	△ 976,567	△ 1,958,237	185,693	1,556,477
(E) 前期繰越損益金	3,461,241	4,621,858	5,001,765	3,900,305	1,809,421	1,868,294
(F) 追加信託差損益金	2,317,245	2,248,195	2,316,479	2,331,782	2,378,901	2,392,773
（配当等相当額）	（ 2,904,545）	（ 2,829,767）	（ 2,994,785）	（ 3,022,242）	（ 3,140,733）	（ 3,172,851）
（売買損益相当額）	（△ 587,300）	（△ 581,572）	（△ 678,306）	（△ 690,460）	（△ 761,832）	（△ 780,078）
(G) 合計（D＋E＋F）	7,289,232	7,654,543	6,341,677	4,273,850	4,374,015	5,817,544
(H) 収益分配金	△ 133,234	△ 127,912	△ 124,893	△ 125,220	△ 126,279	△ 126,639
次期繰越損益金（G＋H）	7,155,998	7,526,631	6,216,784	4,148,630	4,247,736	5,690,905
追加信託差損益金	2,317,245	2,248,195	2,316,479	2,331,782	2,378,901	2,392,773
（配当等相当額）	（ 2,904,545）	（ 2,829,767）	（ 2,994,785）	（ 3,022,242）	（ 3,140,733）	（ 3,172,851）
（売買損益相当額）	（△ 587,300）	（△ 581,572）	（△ 678,306）	（△ 690,460）	（△ 761,832）	（△ 780,078）
分配準備積立金	8,394,424	8,042,146	7,495,720	7,372,037	7,272,462	7,312,241
繰越損益金	△ 3,555,671	△ 2,763,710	△ 3,595,415	△ 5,555,189	△ 5,403,627	△ 4,014,109

（注1）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

（注2）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

（注3）収益分配金の計算過程は11ページの「収益分配金の計算過程（総額）」の表を参照。

オーストラリア好配当株式オープン（毎月決算型）

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第39期	第40期	第41期	第42期	第43期	第44期
(a) 経費控除後の配当等収益	10,936円	151,910円	0円	1,537円	56,837円	168,522円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	2,904,545	2,829,767	2,994,785	3,022,242	3,140,733	3,172,851
(d) 分配準備積立金	8,516,722	8,018,148	7,620,613	7,495,720	7,341,904	7,270,358
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	11,432,203	10,999,825	10,615,398	10,519,499	10,539,474	10,611,731
(f) 分配金	133,234	127,912	124,893	125,220	126,279	126,639
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	11,298,969	10,871,913	10,490,505	10,394,279	10,413,195	10,485,092
(h) 受益権総口数	22,205,745口	21,318,758口	20,815,611口	20,870,004口	21,046,501口	21,106,661口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万 口 当 り 分 配 金	第39期	第40期	第41期	第42期	第43期	第44期
		60円	60円	60円	60円	60円
(単 価)	(9,223円)	(9,531円)	(8,987円)	(7,988円)	(8,018円)	(8,696円)

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、上記()内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンド

運用報告書 第8期 (決算日 2016年3月22日)

(計算期間 2015年9月25日～2016年3月22日)

ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンドの第8期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	オーストラリアの金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）または店頭登録（登録予定を含みます。）の株式および不動産投資信託証券（不動産投資信託の受益証券または不動産投資法人の投資証券）
運用方法	<p>①主として、オーストラリアの金融商品取引所上場株式等（不動産投資信託証券を含みます。）の中から、相対的に予想配当利回りの高い銘柄に投資し、信託財産の成長をめざします。</p> <p>②ポートフォリオの構築にあたっては、次の方針で行なうことを基本とします。</p> <p>イ. 時価総額や流動性等を勘案して投資対象銘柄を選定します。</p> <p>ロ. 投資対象銘柄の中から、企業の利益成長性、財務内容、配当余力および配当政策等を分析し、予想配当利回りの水準が高いと判断される銘柄を中心に、組入候補銘柄を選別します。</p> <p>ハ. 株価バリュエーションや銘柄分散等を勘案してポートフォリオを構築します。</p> <p>③株式等の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。</p> <p>④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>
株式組入制限	無制限

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移

《運用経過》



年月日	基準価額		S&P/ASX200指数 (円換算)		株式 組入比率	株式先物 比率	投資信託 証券 組入比率
	円	%	(参考指数)	%			
(期首) 2015年9月24日	15,573	—	11,334	—	91.9	2.2	3.7
9月末	15,362	△ 1.4	11,131	△ 1.8	91.7	2.2	3.8
10月末	16,856	8.2	12,190	7.6	92.1	2.3	4.1
11月末	17,348	11.4	12,343	8.9	90.2	2.3	5.0
12月末	17,452	12.1	12,468	10.0	90.0	2.4	5.2
2016年1月末	16,097	3.4	11,476	1.3	90.4	2.4	5.5
2月末	14,899	△ 4.3	10,635	△ 6.2	88.9	2.5	6.0
(期末) 2016年3月22日	16,599	6.6	11,793	4.0	89.7	2.6	5.4

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) S & P / A S X 200指数 (円換算) は、S & P / A S X 200指数 (オーストラリア・ドルベース) を円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P / A S X 200指数 (オーストラリア・ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLC が有しています。S&P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：15,573円 期末：16,599円 騰落率：6.6%

【基準価額の主な変動要因】

中国経済に対する過度の懸念の後退などを背景に株式市況が上昇したことが基準価額にプラスの要因となりました。また堅調なオーストラリア経済などを背景にオーストラリア・ドルが対円で底堅く推移したことも基準価額上昇のサポート要因となりました。

◆投資環境について

○オーストラリア株式市況

オーストラリア株式市況は、2015年10月にE C B (欧州中央銀行) のドラギ総裁の発言から12月会合に向けて追加緩和期待が急速に高まったことに加え、中国の追加金融緩和の発表が好感され、上昇しました。2016年1月から2月にかけては、中国株や中国・人民元の急落、原油価格の下落、北朝鮮や中東などの地政学リスクの高まりなどからリスク回避姿勢が強まり、下落しました。3月には、米ドル安の進展や、中国経済に対する過度の懸念が和らぎ原油や鉄鉱石などのコモディティ価格が反発したことなどを背景に、上昇しました。

○為替相場

期首から2015年12月初めにかけて、雇用統計など市場予想を上回る好調な経済指標が見られる中で、オーストラリアの利下げ観測が徐々に後退し、オーストラリア・ドルの対円レートは堅調に推移しました。2016年1月には、中国株をはじめ世界の株式市況が下落し、市場参加者はリスク回避姿勢を強め、中国を主要貿易相手とするオーストラリアの経済への懸念もあって、オーストラリア・ドル相場は下落しました。3月には、米ドル安の進展や原油や鉄鉱石などのコモディティ価格の反発などから、オーストラリア・ドルは対円で上昇しました。

◆前期における「今後の運用方針」

当ファンドでは引き続き、厳しい経済環境下においても安定的なキャッシュフローを生み出すことができる、強固な収益基盤を持つ企業に注目しています。また、その中でも配当という形で株主還元を重視する企業を中心に投資していく所存です。

◆ポートフォリオについて

高いブランド力と強固な顧客基盤を持ち、高い収益性を誇る大手銀行COMMONWEALTH BANK OF AUSTRALIA (金融)、オーストラリア国内で個人向け住宅ローンを主な事業とし優れた財務基盤とともに安定した業績が予想された大手銀行WESTPAC BANKING CORP (金融)、安定した成長性を持ち、海外売上高比率の高い大手梱包用品会社AMCOR LIMITED (素材)、優れたネットワークを持ち、安定した配当が期待されたTELSTRA CORP LTD (電気通信サービス)などを高位に組み入れました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。参考指数はオーストラリア株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。

《今後の運用方針》

当ファンドでは引き続き、厳しい経済環境下においても安定的なキャッシュフローを生み出すことができる、強固な収益基盤を持つ企業に注目しています。またその中でも配当という形で株主還元を重視する企業を中心に投資していく所存です。

■ 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式)	16円 (15)
(先物)	(0)
(投資信託証券)	(1)
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	6 (6)
(その他)	(1)
合 計	22

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

(1) 株 式

(2015年9月25日から2016年3月22日まで)

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外国	オーストラリア	百株	千オーストラリア・ドル	百株	千オーストラリア・ドル
		9,710	7,325	17,744.69	18,551
		(996.03)	(421)		

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 投資信託証券

(2015年9月25日から2016年3月22日まで)

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外国	オーストラリア	千口	千オーストラリア・ドル	千口	千オーストラリア・ドル
		110	1,097	76.333	658
		(2.873)	(8)	(—)	(—)

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 買付()内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 売付()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注4) 金額の単位未満は切捨て。

(3) 先物取引の種類別取引状況

(2015年9月25日から2016年3月22日まで)

種 類 別	買 建		売 建	
	新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外国	百万円	百万円	百万円	百万円
	283	285	—	—

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンド

■主要な売買銘柄

(1) 株式

(2015年9月25日から2016年3月22日まで)

銘柄	当 期			期 末			
	買 付			売 付			
	株 数	金 額	平均単価	株 数	金 額	平均単価	
	千株	千円	円	千株	千円	円	
BHP BILLITON LIMITED (オーストラリア)	90	156,600	1,740	COMMONWEALTH BANK OF AUSTRAL (オーストラリア)	28.8	187,505	6,510
WOODSIDE PETROLEUM LTD (オーストラリア)	30	73,298	2,443	WESTPAC BANKING CORP (オーストラリア)	52	140,081	2,693
INSURANCE AUSTRALIA GROUP (オーストラリア)	160	69,524	434	AMCOR LIMITED (オーストラリア)	122	138,562	1,135
MINERAL RESOURCES LTD (オーストラリア)	162	64,482	398	BHP BILLITON LIMITED (オーストラリア)	65	108,335	1,666
SANTOS LTD (オーストラリア)	120	52,350	436	INSURANCE AUSTRALIA GROUP (オーストラリア)	220	104,271	473
QANTAS AIRWAYS LTD (オーストラリア)	112	35,995	321	TATTS GROUP LTD (オーストラリア)	240	82,986	345
LENLELEASE GROUP (オーストラリア)	30	34,061	1,135	APA GROUP (オーストラリア)	112	82,738	738
TABCORP HOLDINGS LTD (オーストラリア)	90	34,060	378	WESFARMERS LTD (オーストラリア)	19	65,565	3,450
CALTEX AUSTRALIA LTD (オーストラリア)	12	33,208	2,767	NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD (オーストラリア)	27	64,220	2,378
BENDIGO AND ADELAIDE BANK (オーストラリア)	35	31,437	898	CSL LTD (オーストラリア)	8	61,774	7,721

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 投資信託証券

(2015年9月25日から2016年3月22日まで)

銘柄	当 期			期 末			
	買 付			売 付			
	口 数	金 額	平均単価	口 数	金 額	平均単価	
	千口	千円	円	千口	千円	円	
WESTFIELD CORP (オーストラリア)	110	95,875	871	WESTFIELD CORP (オーストラリア)	40	33,454	836
				DEXUS PROPERTY GROUP (オーストラリア)	36.333	22,713	625

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 外国株式

銘柄	期 首		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	百株	百株	千円	千円	
(オーストラリア)					
BHP BILLITON LIMITED	1,040	1,290	2,343	198,718	素材
LENLELEASE GROUP	490	540	766	65,009	金融
ASCIANO LTD	600	300	269	22,839	資本財・サービス
WOODSIDE PETROLEUM LTD	145	445	1,208	102,466	エネルギー
BENDIGO AND ADELAIDE BANK	581.67	931.67	897	76,064	金融
NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD	1,902.4	1,632.4	4,601	390,135	金融
WESTPAC BANKING CORP	1,961.72	1,527.01	4,965	421,003	金融
SANTOS LTD	—	952.94	375	31,831	エネルギー
AUST AND NZ BANKING GROUP	1,724.57	1,584.57	4,099	347,537	金融
AMCOR LIMITED	3,210	1,990	2,809	238,221	素材
DULUXGROUP LTD	739.21	—	—	—	素材

銘柄	期 首		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	百株	百株	千円	千円	
BWX LTD	—	300	127	10,784	生活必需品
INCITEC PIVOT LTD	400	400	125	10,648	素材
COMMONWEALTH BANK OF AUSTRAL	850.41	562.41	4,338	367,812	金融
CALTEX AUSTRALIA LTD	—	120	387	32,830	エネルギー
QBE INSURANCE GROUP LTD	226.42	226.42	245	20,827	金融
TABCORP HOLDINGS LTD	—	900	369	31,283	一般消費財・サービス
QANTAS AIRWAYS LTD	600	1,615.08	654	55,455	資本財・サービス
TELSTRA CORP LTD	5,950	5,350	2,776	235,404	電気通信サービス
AMP LTD	270	270	156	13,253	金融
SUPER RETAIL GROUP LTD	307.35	307.35	267	22,669	一般消費財・サービス
MACQUARIE GROUP LTD	411.64	361.64	2,443	207,168	金融
BANK OF QUEENSLAND LTD	530.36	250.36	315	26,765	金融

銘柄	期首		当期末		業種等	
	株数	株数	評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
	百株	百株	千円	千円		
CSL LTD	173	93	934	79,239	ヘルスケア	
WESFARMERS LTD	853.63	663.63	2,758	233,883	生活必需品	
SUNCORP GROUP LTD	2,680	2,530	3,010	255,247	金融	
ASX LTD	140	140	575	48,818	金融	
HARVEY NORMAN HOLDINGS LTD	400	400	185	15,735	一般消費財・サービス	
INSURANCE AUSTRALIA GROUP	3,510	2,910	1,606	136,183	金融	
SONIC HEALTHCARE LTD	1,107.56	782.36	1,394	118,197	ヘルスケア	
TRANSURBAN GROUP	900	950	1,057	89,642	資本財・サービス	
CHALLENGER LTD	1,516.72	1,116.72	916	77,728	金融	
SYDNEY AIRPORT	1,550	600	390	33,115	資本財・サービス	
JB HI-FI LTD	215	215	495	42,014	一般消費財・サービス	
TATTS GROUP LTD	3,583.72	1,183.72	433	36,730	一般消費財・サービス	
AGL ENERGY LTD	730	730	1,332	113,010	公益事業	
BRAMBLES LTD	250	—	—	—	資本財・サービス	
APA GROUP	3,993.85	2,873.85	2,416	204,905	公益事業	
DIJET GROUP	5,700.62	4,200.62	936	79,416	公益事業	
FLIGHT CENTRE TRAVEL GROUP L	45	—	—	—	一般消費財・サービス	
IOOF HOLDINGS LTD	720	720	626	53,106	金融	
MINERAL RESOURCES LTD	99.95	1,369.95	889	75,377	資本財・サービス	
PLATINUM ASSET MANAGEMENT	180	180	118	10,041	金融	
RAMSAY HEALTH CARE LTD	50	—	—	—	ヘルスケア	
SPARK INFRASTRUCTURE GROUP	1,000	1,147.05	235	19,935	公益事業	
CARDNO LTD	214.35	156.45	18	1,538	資本財・サービス	
AUTOMOTIVE HOLDINGS GROUP LT	2,003.96	2,003.96	809	68,637	一般消費財・サービス	
THORN GROUP LTD	249.11	256.89	44	3,767	一般消費財・サービス	
RETAIL FOOD GROUP LTD	523.58	523.58	272	23,126	一般消費財・サービス	
GB EDUCATION LTD	487.4	506.54	192	16,318	一般消費財・サービス	
SIRTEX MEDICAL LTD	80	80	226	19,221	ヘルスケア	
NANOSONICS LTD	40.37	40.37	8	687	ヘルスケア	
ORORA LTD	1,863.9	2,563.9	638	54,124	素材	
MAGELLAN FINANCIAL GROUP LTD	90	90	202	17,160	金融	
RIDLEY CORP LTD	125.71	125.71	16	1,428	生活必需品	
DOMINOS PIZZA ENTERPRISES L	45	45	254	21,566	一般消費財・サービス	
TECHNOLOGY ONE LTD	400	400	188	15,972	情報技術	
SHINE CORPORATE LTD	230.63	—	—	—	一般消費財・サービス	
NEARMAP LTD	800	800	31	2,679	情報技術	
INTECQ LTD	371.94	371.94	151	12,802	一般消費財・サービス	
PACT GROUP HOLDINGS LTD	71.25	71.25	35	2,990	素材	
ARDENT LEISURE GROUP	1,271.96	471.96	92	7,802	一般消費財・サービス	
ファンド	株数、金額	60,208.96	53,170.3	58,042	4,920,884	
合計	銘柄数<比率>	58銘柄	57銘柄		<89.7%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国投資信託証券

銘柄	期首		当期末		
	口数	口数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	千口	千口	千円	千円	
(オーストラリア)					
GROWTHPOINT PROPERTIES AUSTR	81.983	84.856	263	22,301	
NATIONAL STORAGE REIT	170.951	170.951	278	23,623	
SCENTRE GROUP	59.808	59.808	259	22,006	
BWP TRUST	50	50	169	14,370	
DEXUS PROPERTY GROUP	36.333	—	—	—	
WESTFIELD CORP	18	88	865	73,338	
GOODMAN GROUP	198.43	198.43	1,327	112,545	
VICINITY CENTRES	115	115	358	30,419	
合計	口数、金額	730.505	767.045	3,522	298,604
	銘柄数<比率>	8銘柄	7銘柄		<5.4%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(3) 先物取引の銘柄別期末残高（評価額）

銘柄別	当期末	
	買建額	売建額
外国 SPI 200 INDEX (オーストラリア)	百万円 142	百万円 —

(注1) 外貨建の評価額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年3月22日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
株式	4,920,884	86.5
投資信託証券	298,604	5.2
コール・ローン等、その他	469,445	8.3
投資信託財産総額	5,688,934	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、3月22日における邦貨換算レートは、1オーストラリア・ドル＝84.78円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(5,521,858千円)の投資信託財産総額(5,688,934千円)に対する比率は、97.1%です。

ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンド

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年3月22日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	5,760,986,458円
コール・ローン等	377,472,897
株式（評価額）	4,920,884,491
投資信託証券（評価額）	298,604,244
未収入金	75,761,491
未取配当金	65,099,145
差入委託証拠金	23,164,190
(B) 負債	272,052,000
未払金	72,052,000
未払解約金	200,000,000
(C) 純資産総額（A－B）	5,488,934,458
元本	3,306,758,459
次期繰越損益金	2,182,175,999
(D) 受益権総口数	3,306,758,459口
1万口当り基準価額（C/D）	16,599円

* 期首における元本額は3,942,540,371円、当期中における追加設定元本額は615,441円、同解約元本額は636,397,353円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、オーストラリア好配当株式オープン（毎月決算型）10,853,476円、ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド3,295,904,983円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は16,599円です。

■損益の状況

当期 自2015年9月25日 至2016年3月22日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	138,147,455円
受取配当金	137,398,595
受取利息	709,320
その他収益金	39,540
(B) 有価証券売買損益	237,818,108
売買益	436,337,908
売買損	△ 198,519,800
(C) 先物取引等損益	6,510,341
取引益	6,713,135
取引損	△ 202,794
(D) その他費用	△ 2,361,588
(E) 当期損益金（A＋B＋C＋D）	380,114,316
(F) 前期繰越損益金	2,197,079,771
(G) 解約差損益金	△ 395,402,647
(H) 追加信託差損益金	384,559
(I) 合計（E＋F＋G＋H）	2,182,175,999
次期繰越損益金（I）	2,182,175,999

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。